

アメリカシロヒトリの防除・駆除について

アメリカシロヒトリとは

チョウ目ヒトリ科のガの一種の害虫です。年2～3回発生し、卵で越冬します。卵は数百個単位で白い卵網の中で成長します。

食草は広く、サクラ・ヤナギ・カキなどの落葉樹を好み、樹木に害を及ぼします。



アメリカシロヒトリ（成虫）



被害を受けた樹木（桜）

発生時期

気象条件によりますが、6月上旬から7月上旬（一化期）、8月上旬から9月中旬（二化期）の年2回発生します。

防除・駆除

防除・駆除は、樹木の所有者の責任で行ってください。

市が管理する道路や公園などは、市の所管課で駆除を行いますので、見かけた場合は所管課又は環境保全課までご連絡ください。

駆除方法（早期段階）

幼虫は吐いた糸で作った巣に約1週間留まります。



その後、体長1.5センチメートル位になると巣から離れてしまうので、分散する前に枝葉を切り取り、焼殺または踏みつぶして駆除してください。



剪定した枝葉は、指定の燃やせるごみ袋へ入れて十字にしっかり閉じてから集積所へ出してください。

駆除方法（拡散後）

発見が遅れ、すでに虫が分散してしまい、剪定では対処できなくなった場合は、消毒業者（害虫駆除）へ直接ご相談の上、駆除を依頼してください。

なお、個人で消毒（駆除）される場合は、薬剤の取扱いには十分注意して対応してください。

問合せ先

大崎市 市民協働推進部 環境保全課

TEL 0229-23-6074 / FAX 0229-23-2427

E-mail kankyo@city.osaki.miyagi.jp